

サニナビ

北九州

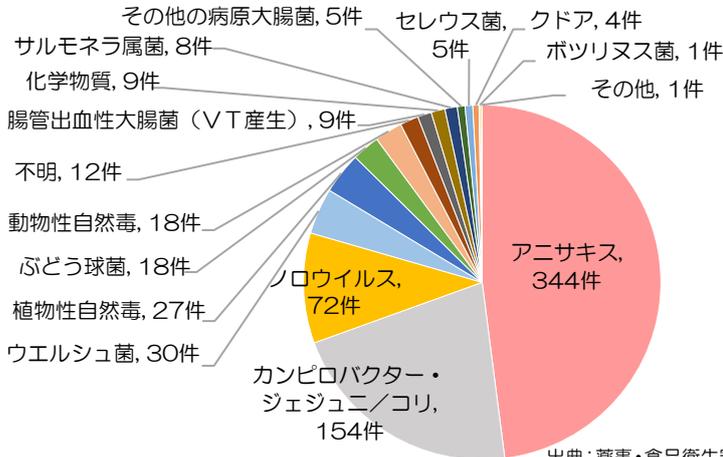


北九州市保健所
 東部生活衛生課
 広域食品指導係
 小倉北区西港町 94-9
 TEL 093-583-2048
 FAX 093-583-2044

令和3年食中毒発生状況

令和4年3月17日、厚生労働省において、薬事・食品衛生審議会が開催され、令和3年食中毒発生状況について報告されました。

令和3年の食中毒事件数は、前年の887件より減少し717件、患者数は前年の1万4613人より減少し1万1080人、死者数は前年の3人より減少し2人と、食中毒事件数、患者数、死者数全て前年を下回る結果となりました。



出典：薬事・食品衛生審議会
 食品衛生分科会食中毒部会
 配付資料

図1. 病因物質別食中毒発生状況(令和3年)

表1. 患者数500人以上の食中毒事例(令和3年)

都道府県	発病年月日	原因施設	原因食品	病因物質名	患者数	死者数	摂食者数
1 富山市	2021/6/16	製造所	牛乳	病原大腸菌 OUT : H18(疑い)	1,896	0	6,243
2 倉敷市	2021/4/30	仕出屋	不明※	ノロウイルスGII	2,545	0	6,453

※(4月26日~29日に提供された給食弁当)

表2. 死者が発生した食中毒事例(令和3年)

都道府県	発病年月日	原因施設	原因食品	病因物質名	患者数	死者数	摂食者数
1 小樽市	2021/5/26	家庭	イヌサフラン	植物性自然毒	1	1	1
2 沖縄県	2021/4/14	事業場 給食施設 老人ホーム	4月13日に調理された春雨の和え物	サルモネラ属菌	11	1	179

イヌサフランについて

イヌサフランとは、別名コルチカムとも呼ばれます。球根は径3〜5センチの卵形で、アヤメ科のサフランに似た花をつけます。毒性成分は、アルカロイドのコルヒチンであり、**嘔吐、下痢、皮膚の知覚減退、呼吸困難**などの症状をもたらす。重症の場合は死亡することもあります。球根がニンニクやタマネギ、ジャガイモ、ミョウガ等と似ていることから、**誤食による食中毒**が発生しています。



イヌサフランの球根



イヌサフランの花



イヌサフランの花

出典：厚生労働省自然毒のリスクプロファイル



イヌサフランの葉



ギョウジャニンニクの葉

令和3年5月、小樽市において、自宅付近に生えていたイヌサフランを、食用のギョウジャニンニクと誤って喫食したことによる食中毒が発生し、1人が死亡しました。イヌサフランの葉は、ギョウジャニンニクの葉と似ているため、注意が必要です。

富山市で発生した患者数500人以上の食中毒について

- ・ 場所 富山市内の小・中学校、保育所
 - ・ 日時 令和3年6月15日、16日
 - ・ 患者数 1896人
 - ・ 症状 腹痛、下痢、嘔吐の症状
 - ・ 原因食品 牛乳
 - ・ 病因物質 病原大腸菌OUT (O:Gp):H18 (疑い)
- ※JT:Untypable
- 行政処分 令和3年6月19日〜
 令和3年8月1日の
 営業禁止命令

本件では複数の施設から、患者が発生していましたが、患者の共通食は、乳処理施設製造の牛乳であったことから、当該施設が食中毒の原因施設であると断定されました。今回の食中毒の原因は、**複数の製造機械が故障していたこと(プレート式連続殺菌機の温度感知機能の低下、ホモジナイザー圧力計の故障)、製造機械類の洗浄方法が不適切であったこと、サージタンク(殺菌後の牛乳を貯蔵するタンク)のベント(空気取り入れ口)部分が外気と接触する構造をしていたこと、作業全体を通して記録が少なく、確認不足になる可能性があったことなどがあげられています。**

この食中毒をきっかけに、HACCPに沿った衛生管理や、記録のつけ方などを見直していただけたらと思います。

編集後記

うらかな春の日差しが差し込み、心地の良い季節となりましたね。
 今回の写真は、「コアラ」です。

